

O JAPAN

ORIENTEERING JAPAN

'93/8

シンキングスポーツ・オリエンテーリング

1993年〔平成5年〕8月10日発行
(毎月1回10日発行)

第10巻第8号通巻第121号

昭和63年6月24日第三種郵便物認可





Etapp 1 19 juli 1993

Lokala tecken

- Jordkällare
- Stenröse
- Liten ruin
- Koja

[本誌掲載のため、約 85 %に縮小]

KINNARED +

"Orienterings dag"

i Hylte kommun



HYLTE KOMMUN

O-Ringen 1993, Etapp 1		8200	
D21E			
△	↑	○	⊙
1	39	▲	○
2	51	▲	○
3	83	∧	
4	90	∧	
5	93	▲	○
6	97	●	○
7	208	○	○
8	72	↓	○
9	84	●	○
10	188	∧	⌂
11	206	⌂	⌂
12	332	⌂	⌂
13	320	⌂	⌂
14	342	▲	○
15	249	⌂	⌂
16	277	▲	○
17	218	⌂	○
18	500	○	○

104

+



O-RINGEN大会第1日、インタビューを受ける
アンデルセン選手(ノルウェー)



ラジコンロープからの情報が刻々とインフラされる。



1万数千人のゴールをさばくゴール地区役員達。

- =WOC '93=
日本代表チームに援助をお願いします4
- =公認大会情報=
「第15回朝日OL大会」 石田 潤一5
「西日本大会受け付けが始まります！」 出田 洋
- =イベント・レポート=
「第19回全日本OL大会を終えて」6-7
島根県オリエンテーリング協会・木村 弥生
「KOLAナイトOL大会 &
第13回コンターズ練習会」 岡本 忠佳
- =SQUADより= SQUAD 広報担当・桐田 幸宏.....8-11
「WOC '93 選手の抱負と賛助金のお願い」
「JWOC選手選考方法決定」
「WM91ビデオ販売のお知らせ」
- =投稿=
「“走”の世界へ・・・」 長谷川 照恭.....12
- =オリエンティアのための本棚=
第1回：井上ひさし「4千万歩の男」1～5 村越 真.....13
- =全国PC愛好会=
パーマメントコースりば～と 大高 竜亮.....14
- =連絡協だより= =編集部より=16



【今月の表紙】7月19日～23日、スウェーデンのハランド地方で開かれた、O-RINGEN (オリゲン)大会最終日のゴール・レーン。向かって左端のレーンが“トレイルー0”(いわゆる身障者のためのオリエンテーリング)のレーン。

【今月の地図】同じくO-RINGEN大会第1日のD21-Eコース。この日は、地元スウェーデンの世界選手権者＝マリタ・スコグムなどの強豪を抑えて、ノルウェーのラグンヒルド・アンデルセン(左上の写真＝第1日のトップ確定後のインタビュー)が制した。なお、5日間総合ではスウェーデンのアニカ・ゼルが優勝、2位にマリタ、そして彼女は3位であった。

~~~~~ストリーマー~~~~~は、今月も休ませていただきます。 流人

## WOC '93 日本代表チームに援助をお願いします

前回、チェコでの世界選手権大会に際しましては、多くのオリエンティア並びにオリエンテーリングに理解ある皆様から、110万円余の援助金をいただきありがとうございました。

1983年のハンガリーでの世界選手権大会以来、世界選手権大会に参加する日本代表チームは、SQUADが主催する(前回は、SQUADが母体となるナショナルチーム)セレクションレースにより事実上決定されてきました。

本年の世界選手権大会は、10月8日～14日にアメリカにて開催されますが、前回までと同様、代表チームの参加費用につきましては、その全てを公的負担に期待できる状況にはなく、代表選手自ら負担せざるを得ない状況です。つきましては、SQUADとして、前回までと同様皆様方に資金援助をお願いする次第です。

援助金は前回と同様にSQUADの賛助会費という形でお受けし、SQUADを通じて、代表チームの必要経費に充当させていただきます。

どうぞ、以上の主旨をご理解いただきご協力をお願い申し上げます。

援助金につきましては、郵便振替または定額小為替等で後記送付先にお送りいただくか、SQUADの関係者に直接お渡しいただければ幸甚に存じます。後日領収書を発行し、大会終了後、報告書を送らせていただきます。

1993年8月

WOC SQUAD JAPAN

◇

①郵便振替：東京6-651396

加入者名：

「WOC SQUAD JAPAN」

②送付先：SQUAD賛助会員担当  
落合 公也

〒491 愛知県一宮市時之島字大東81  
TEL. 0586-78-6382

### WOC '93 日本代表メンバー

#### 〔女子選手〕

木植 早生 (4回目)

福士 淑子 (2回目)

渡辺 初実 (初出場)

金子しのぶ (初出場)

宮本知江子 (4回目)

#### 〔男子選手〕

村越 真 (7回目)

鹿島田浩二 (2回目)

入江 崇 (初出場)

吉田 勉 (4回目)

国沢 五月 (初出場)

なお、オフィシャル陣については、未定です。

#### ☆ '93WOC

#### 日本代表選手壮行チャリティOL大会

9月11日に、日本初の6人リレーを世界選手権大会への日本代表選手派遣のチャリティとして、八ヶ岳山麓にて開催します。ぜひ、ご参加ください。(本誌付録のオリエンテーリング・カレンダー参照) 翌日にはトータス'93八ヶ岳大会があります。

#### ☆セレクションレース・ビデオの販売

セレクションレース(5月24日「望郷の森」と7月4日「あいの土山」で撮影したビデオを販売します。日本のトップエリート森のなかの走りをぜひご覧ください。発売は秋の予定です。

WOC SQUAD JAPAN

(略称 SQUAD スコード)

代表 宮川 達哉

◆SQUADの組織については、本誌'93/6(9ページ=通巻2043ページ)をご参照ください。 [編集部]

### WOC '93

### エントリー状況

★4月29日現在、過去最多の30か国が、この秋開催されるWOC '93にチームを派遣するであろうとの発表が主催者より行なわれた。

|         |          |
|---------|----------|
| オーストラリア | 日本       |
| オーストリア  | ラトビア     |
| ベルギー    | リトアニア    |
| ブルガリア   | オランダ     |
| クロアチア   | ニュージーランド |
| チェコ     | ノルウェー    |
| デンマーク   | ポーランド    |
| エストニア   | ロシア      |
| フィンランド  | スロバキア    |
| フランス    | スロベニア    |
| ドイツ     | 南アフリカ    |
| イギリス    | スペイン     |
| ハンガリー   | スウェーデン   |
| アイルランド  | スイス      |
| イスラエル   | USA      |

★中国は出場を辞退。新独立国のいくつかは、おそらくフル・エントリーは無理であろう。

★ソ連や東欧諸国の分裂などで、IOF加盟国が増え、お陰でことしはWOCへの参加国が大幅に増えた。旧ユーゴスラビアのクロアチアとスロベニアからのレーサーたちに会うことができる。旧ソ連：ここからはロシア、ラトビア、リトアニア、そしてエストニアがやってくる。まだ確定はないがベラルーシとウクライナもある。新しく加盟を承認された南アフリカも参加しようとしている。カナダも正式申込みはないが、過去の例から男子2~4人、女子1~2名のはあるであろう。他に、香港、イタリー、そしてポルトガルなども、過去に参加を経験しており、ほどなくエントリーが決定されるはずである。

[From "ORIENTEERING NORTH AMERICA  
June/1993]

◆「オリエンテering ノースアメリカ '93/6月号」

訳：田口 肇

## 第15回 朝日OL大会

【事務局通信 No. 1】

来る10月31日に、毎年恒例の朝日OL大会が新潟県において開催されます。その大会要項がで上がりました。例年ですと本誌に折り込まれるのですが、秋に向けての大会が重なり、また事務連絡が遅れたため今年は折込みができませんでした。(その後、本誌で検討の結果、8月号綴込み予定であった他の大会要項のうちの一部を9月号に回し、この朝日大会の要項をこの号に綴り込みます)。

ただし、例年より1か月早い開催のため、個人の部申込み期間も8月2日から8月24日と早くなっていますのでご注意ください。また学生の方は夏休み期間中ですが、お忘れなきよう多数の参加申込みをお待ちしております。

さて今回の『朝日OL大会』は新潟県にとって、昭和58年に巻町『越王』で開催された東日本大会以来の10年振りの公認大会です。開催場所は、春は桜で有名な城下町『村松町』です。大会当日はJR信越線「新津」駅より臨時バスを運行する予定ですし、車でお出での方の駐車場も心配ありません。オリエンティアの皆さん、秋の越後路へどうぞお出かけください。

また今回は、朝日大会のイベントとしてMTBだけによるスコア形式のサイクルOLも企画しています。運営の都合上参加者は100名程度に限らせていただきます(申込み多数の場合は抽選)。こちらの方も楽しみに！次号にはテライン情報をお送りいたします。

なお大会当日の集合場所は、「個人」「サイクル-O」は村松町立山王中学校、「トリム」は村松町立愛宕中学校です。

最後に問合せ・連絡先は、

村松町民体育館内  
朝日OL大会実行委員会事務局  
TEL. 0250-58-6373

## 西日本大会 受付け始まります！

平成5年度の西日本大会は、11月21日に兵庫県で開催されます。

要項も完成し、いよいよO-CUP大会から配布が始まりました。今年の西日本大会は兵庫県の中央部にある峰山高原の周辺を会場にして開催されます。峰山高原は標高約1000mの高原地帯で、針葉樹林や草原地帯が多く広がる地域です。

今回は、航空写真をイギリスのハーベイ社に送り図化を行なった特製の原図をベースに調査作図を行なっています。すでに一次調査を終了し、トータルクリーンコピーによる試走も完了しました。さすがに専用の原図を使った地図調査だけに、O-Mapとしての完成度はかなり高いものに仕上がります。地図、テライン、コースにぜひご期待下さい。

兵庫県といえば、OLP兵庫。もちろん、西日本大会もOLP兵庫を中心に準備を進めています。皆さんに楽しんでもらえる大会にしようと、クラブ員みんなでいろいろなアイデアを出し合って大会の企画を進めています。多くの皆さんが参加して、満足して帰っていただけるよう、精いっぱい頑張っていますので、ご

期待下さい。なお、OLPではO-Cupとトータス八ヶ岳大会の会場で、西日本大会の申込みの代行受付を行なっています。手軽に申込みできますので、是非ご利用下さい。(JOAへの直接申込み期間は、9月10日～20日です。忘れないように！)

兵庫県といっても、今回西日本大会を開催する峰山高原は、姫路からJRとバスを乗り継いで約2時間、自動車の場合は中国自動車道「福崎」ICより約70分という少し不便なところです。遠方から参加の方はもちろん、関西から参加の方も、是非宿泊をお考え下さい。兵庫県OL委員会では、会場に近い公共の宿舎を斡旋しています。宿泊料も格安ですので、要項にある宿舎斡旋の案内をご覧ください。

西日本大会の会場で多くの皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

平成5年度西日本OL大会 実行委員会  
出田 洋



## 第19回 全日本O.L大会 を終えて

島根県オリエンテーリング協会  
木村 弥生

第19回全日本オリエンテーリング大会には、遠路お越しいただきましてありがとうございました。

主管いたしました島根県オリエンテーリング協会員として、「ほんとうに全日本大会ができるだろうか。」という恐怖にも似た不安でいっぱいだった6年前を振り返り、ご支援、ご協力いただきました多くの方々へ御礼申し上げます。

全日本大会に向けて、「ゲレンデは?」、「地図は?」、「試走は?」、「運営は?」等々、多くの問題を抱えながらのスタートでした。島根は東西に長く、出雲以西は交通の便が悪く藪もきついなどで、出雲以東にテラインを求めましたが、やっと見つけた所はゴルフ場建設という大きな壁に阻まれ、やむなく安来市となりました。(行政および地主さんの深いご理解とご協力をいただきました。)

テラインとしては、お世辞にも良いとは言えませんが、地図調査を快く引き受けて下さった山川克則さん(R. M. O サービス)のお陰ですばらしいコースに変身しました。

一方、試走者が充分でないと広島O.L.Cの人に“ぐち”をこぼしたところ、「じゃあ試走のお手伝いをしますよ!」と暖かい言葉をいただき、あつかましく運営面でも大事なセクションをお願いし、所要所をきっちり納めていただき、大会不成立という不名誉な記録を免れた次第です。(他に福山O.L.C、山口大O.L.Cの方々のお力をいただきました。) また、中四九学連の皆様には、遠路島根まで来ていただくのだからとリレー大会を前日に開催していただき、県を越え、年齢を越え、出雲の神様まで味方(前々日まで“みぞれ”が降っていた。)してもらっての2日間大会となりました。

全日本大会を運営した協会員は多くのことを学びました。今後もオリエンテーリングの発展のため、より一層頑張っていきたいと思いますので、ご指導とご協力をお願いいたします。

□1993年7月31日(土)  
8月1日(日)  
KOLA  
ナイトO.L大会  
第13回  
コンターズ練習会

■大阪市・大阪城公園  
■大阪市・守口市  
鶴見緑地公園

味方:岡本 忠佳(志摩ハイ村)

### <KOLAナイトO.L大会>

「戻り梅雨」の合間と言うべきか曇り空の大阪城公園は、夏祭りのための太鼓の練習や花火を楽しむ人達でにぎわっていました。岸和田オリエンテーリング協会の皆さんは、おでんを煮込んだり、またアベックがたむろしている中でポスト設置に相当苦労されたようでした。地図は空に土星が浮かび、シンボルマークの玉ネギ坊やが人工衛星に乗っているユニークなもので、20時の一斉スタート後は、探査衛星のパイロットのような感じでポストを求め走り回りました。参加者は約30名で、スコア・オリエンテーリン

## 植物性

- 持久力・体力……健康の維持
- ノンコレステロールです

## プロテイン95

- 皮膚・毛・目・爪・筋肉組織・分泌腺・血・
- ホルモン等すべてプロテインで出来ている

## レシチン

- 脳神経系統内分泌腺及び心筋成分
- コレステロール分解



● お問合わせはO・J・A・P・A・N編集部まで

グのため走力のある人は得点の多い天守閣付近に群がりました。痴漢に間違われないように、電灯はつけたままということで、楽しい夜を過ごしました。

### <コンターズ練習会>

花博記念公園鶴見緑地は、東部が大阪市鶴見区、西部が守口市に跨がっており、大池が中心部に、南部に展望台の「いのちの塔」「咲くやこの花館」などがあります。軽快なピッチ走のグループがあり尋ねると、毎週30分程度のタイム走をしているとのことで、驚きました。

今年の練習会の競技形式は、Aクラスについて第1から第4ステージまであ

り、第1ステージは通常の地図によるポイントO.L、第2ステージは第1ステージで使用した地図から一部の情報だけを取り出した1色刷りの地図によるポイントO.L、第3ステージは全区間テープ誘導で歩測の確認、第4ステージはコンターリング/メモリー/コンパスO.Lと非常に多彩な組合せでした。

参加者総数は53名で、時折小雨がぱらつく中を、リラックスした雰囲気ですタートして行きました。特にAクラスのコンパスO.Lで29名中15名が失敗したのは、タイムを競うあまり、焦りが原因だったかもしれません。私自身はソフトボールで痛めた左足をかばいながら1°

55°43°で歩き通した次第です。

夏に公園O.Lをする理由を辻村先生に尋ねたところ、皆が楽しみながら参加できること、水飲み場があること、捜索隊を出さなくともよいとのことでした。10月に出産を控え、地図交換所で活躍された辻村充子さん、愛知県大府市から参加しAクラストップの成績をあげた佐藤政明さん、岐阜県の中田ご夫妻など、いろいろな方達と知り合えたことを嬉しく思います。

今回は体調を整え入賞を目指してトレーニングに励みます。

### 第1回わたらせ渓谷 オリエンテーリング大会

**オリエンテーリング大会に250人参加**  
第一回わたらせ渓谷オリエンテーリング(O.L)大会がこのほど、勢多・東村花輪地区を中心としたコースで開かれた。写真◎。同地区にオリエンテーリング協会指定のパーネットワークスが設定されたの記念して行われたもので、大会には、県内外から家族連れなど約二百五十人が集まり、地図コンパス(方位磁石)をたよりに、田園風景のなかのオリエンテーリングを楽しんだ。優勝者は次の通り(敬称略)。

【トリム(グループ)】  
一般男子1、池谷香次郎(佐波東、3人) 1時間7分12秒▽同女子5、山口口▽18歳上級者6、若梅節子(東京都町田市) 1時間33分55秒▽混合5、大内健次(栃木県足利市) 2時間22分41秒▽家族5、海老沢洋(埼玉県入間市) 2人、1時間5分37秒▽中学男子5、加藤得(茨城県、2人) 1時間15分51秒▽小学生男子4、斉藤昭宏(勢多東、5人) 54分56秒▽同女子3、神山ひとみ(勢多東、4人) 3時間4分34秒

【個人】男子▽18歳以上上級者8、フランティスカ・ペテルカ(茨城県) 1時間22分25秒▽35歳以上上級者6、鈴木英一(横浜) 1時間12分41秒▽同初級者5、小林弘一(同) 9分31秒▽50歳以上上級者5、古川治一(同) 2分9秒▽年齢制限なし初級者3、佐々木謙二(秋田) 1時間38分27秒▽女子▽18歳上級者6、若梅節子(東京都町田市) 1時間33分55秒▽混合5、大内健次(栃木県足利市) 2時間22分41秒▽家族5、海老沢洋(埼玉県入間市) 2人、1時間5分37秒▽中学男子5、加藤得(茨城県、2人) 1時間15分51秒▽小学生男子4、斉藤昭宏(勢多東、5人) 54分56秒▽同女子3、神山ひとみ(勢多東、4人) 3時間4分34秒

▽同女子5、山口口▽18歳上級者6、若梅節子(東京都町田市) 1時間33分55秒▽混合5、大内健次(栃木県足利市) 2時間22分41秒▽家族5、海老沢洋(埼玉県入間市) 2人、1時間5分37秒▽中学男子5、加藤得(茨城県、2人) 1時間15分51秒▽小学生男子4、斉藤昭宏(勢多東、5人) 54分56秒▽同女子3、神山ひとみ(勢多東、4人) 3時間4分34秒

light-O Map

## 大阪城公園



【5月19日、「産経新聞」地方版より】

# SQUADより

SQUAD (WOC SQUAD JAPAN) はナショナルチームをサポートしています

## WOC93 選手の抱負と賛助金のお願い

先月号でも速報ベースでお知らせしたとおり、7月4日の本セレクション最終戦をもって、世界選手権93日本代表チームが決定した。

男子は、インカレ・全日本でも好成績を残した、新鋭・入江崇が多く、ベテランを破り堂々の通過を決めた。推薦では、セレクション第1戦・第2戦とも3位と安定している吉田勉がまず決定。残る一人は、第1戦で2位の国沢五月と、第2戦で2位の中村弘太郎が有力であったが、第1戦のテラインがより本番に近いなどの理由から、国沢五月が選ばれた。前回WM91で、学生ながら代

表となった中村は、涙をのんだ。

女子は、最近の躍進著しい渡辺初実が、やはり有力選手を抑える形で堂々の通過。推薦では、第1戦2位・第2戦3位の金子しのぶがまず決定。残る一人は、第2戦で2位と健闘をした千葉あかね達、急成長途上の若手と、不調が続きながらも実績・実力は申し分ない宮本知江子との選択となったようだ。総合的な判断からコーチは宮本を選んだ。

これにより全代表メンバーが決定。セレクションの当日、コーチにより発表があった。

### 日本代表メンバー

村越 真 (静岡OLC)  
鹿島田浩二 (東京OLC)  
入江 崇 (東北大学)  
吉田 勉 (みちの会)  
国沢五月 (東京HRC)

木植早生 (茨城小中教員C)  
福士淑子 (鳩の会)  
渡辺初実 (横浜OLC)  
金子しのぶ (ワンダラズ)  
宮本知江子 (京葉OLC)

### 代表選手の抱負

#### <入江 崇>



やけにあっさり自分が選ばれてしまった。確かに以前から世界選手権に出たいという気持ちはあったが、2年後・4年後、あるいはもっと先の話だった。それが突然3ヶ月後にやってきてしまったのだから、出場が決まって心の準備をする時間もないまま、みんなに「おめでとう」って声をかけてもらって実に妙な気分だった。

さて、これから本番までどうするかが、今回勢いで出場が決まってしまったけれど、自分の「きまぐれ」オリエンテーリングではWOCをまともに走れるとは思えない。残された時間で自分のオリエンテーリングをできるだけ確実性のあるものになりたい。

今は地図をながめるだけでWOCがどんなところなのかすごくわくわくする。今回のアメリカでは、結果を追求するより、世界というものがどういうものなのか勉強していきたい。

#### <渡辺 初実>



WM本セレ第二戦、私にとって本当に大きな意味を持つレースでした。

WMが世界一の大会で、エリートオリエンティアの目標だというのは今までよく聞いてきたことです。今度は私その大会に出るのです。だから日本チームの代表の一人として恥しくないレースが出来るように頑張りたいと思います。WMに向けて自分の出来ることは何でもして、いいレースが出来たと言えるように、WM当日に向けて頑張っていきたいです。まだまだ未熟者ですが精一杯頑張ろうと思うので、応援してください。



## &lt;吉田 勉&gt;



これで世界選手権出場は4回目になります。OL界では神様にあたるような特別な人達を除くと、最多出場ではないでしょうか。われながらセレクションには強いなど感心しています。

前回、前回は世界選手権の為に1年なり、2年なりの期間準備してセレクションを通過してきました。しかし、この2年は生活の変化もあり、NTははずれ、トレーニング量も半分以下となり、いわば“大会だけのエリート”として活動してきました。だから、あれだけの有力な選手とレースをして結果を出せたことは自分でも不思議です。自分にとって最高のレースをしたというわけでもありません。一つ理由をあげるとすれば、レースに対する誠実さにあったかもしれません。レースをきちんと走りきりたいという思いが、今回の結果につながったのでしよう。

そんなわけで、前回と比較して今回の自分が進歩しているとは思えません。体力的に見れば、半分ぐらいでしょう。でも、エリートとしての気負いが抜けたせいか、オリエンテーリング自体を非常にシンプルに考えることが出来るようになったので、テクニカルなアメリカのテラインに対しても技術的な不安はほとんどないんです。

推薦で選ばれた理由は、多分経験と安定性だと思うので、若い選手が安心して走れるように、この2ヶ月半はNT選手として恥しくないようなトレーニングをして、本番に臨みたいと思います。そして、よい仕事ができたら幸せです。

90ユニバーシアード。私にとっての初めての世界大会はその雰囲気のみこまれ、舞い上がり、自分でも何をしているのかわからないまま泣きながらゴールするという、とても情けないものでした。まだ体力も技術もなく、でもそれ以上に日本で出来ていたことさえ出来なかったのがとても情けなくて悔しいレースでした。

あれから3年。私も少しはまともにOLが出来ようになったのか、はたまた単にお姉様方がやめていく中、諦めずにオリエンテーリングを続けてきたものずに御報美がまわってきただけなのか、とにかくもう一度世界の舞台にあがるチャンスを頂きました。しかも今度は世界選手権。憧れの世界選手権への切符を手にして、うれしくてワクワクする気持ちと、怖くて逃げ出したいような気持ちが交互に押し寄せてくるという、とっても変な気分を今味わっているところで。

今回の目標はなんと言っても泣かずに帰ってくること（嬉し泣きは別です）。せっかく世界最高と言われる大会に参加できるチャンスを頂いたのですから、その雰囲気、テライン、コースを十分に味わって楽しんでこようと思っています。結果はなるようにしかならないので、とにかく精一杯やって、自分なりに満足できるレースをしたいと思います。

## &lt;金子 しのぶ&gt;



## &lt;宮本 知江子&gt;



近年希なことに2人も(?)メンバーが入れ替わった女子チームとなりました。これまでは、あくまで中堅に位置しているとして、リーダーとなってメンバーを引っ張るというよりも、小姑的かつ励まし励まされる立場にいて、比較的マイペースに準備ができてきたと思います。今回は、はったりでもいいからチームを明るく、個々のメンバーが自信を最後まで持ち続けていけるようにまとめたいなと思っています(あーそういう年になっちゃったのかな)。でもそのように他を叱咤激励しながら自分をコンディショニングしていくのが私の本来のペースですから、結局はベストに持っていくことが可能でしょう。体力的に自信が持てればクラシカルも一度は走ってみたいものです。でもそれには相当の準備が必要ですから、現時点では漠然とした希望としてだけ述べておきましょう。ロングよりもショートよりも私が目指しているものは、リレーで、4人全員がベストのレースをすることです。ベテランはこれまでの経験を踏台にし、初めての挑戦者にはビギナーズサクセスを期待して、中堅国に肉薄した結果を残すことを目標としています。事実、ベストレースさえできれば、十分可能であると確信しています。そのためには、チームのまとめ役として貢献できればこの上なく幸いです。初めてアメリカで開催されるということで、新しい風にあたることのできるのを大変うれしく思います。テラインから得られる情報からは、ヨーロッパで経験した氷河地形のようなのであまり不安は感じません。

丁度セレクションレース期間中に崩した体調を、早く立て直して初秋には本来の目標に向かって突っ走れるように頑張りますね。期待に恥じない結果を残すことは大変な努力の上に成り立つものですが、これがまた格好の目標となります。他のメンバーと共によろしくお願いたします。

## ◆世界選手権 93日本代表チームへの援助のお願い

SQUADの賛助会員制度とは、自費で世界選手権に参加をする日本代表選手の負担を軽減することと、自分たちの代表だという期待を込めて送り出すという意味で、オリエントアヤオリエンテリングに理解のある方々からの援助を賛助会費というかたちで募るといふものです。寄せられた賛助会費は、SQUADを通じて、世界選手権参加の経費に充てさせていただきます。

この趣旨に賛同してくださる方は郵便振替または定額小為替で、下記宛にご送金ください。金額は問いません。賛助会員期間は、93年9月～95年3月です。世界選手権終了後、報告書を送らせていただきます。

なお、今回の世界選手権は10月9日から14日にアメリカのニューヨーク州でおこなわれます。

### 《郵便振替》

口座番号 : 東京6-651396  
加入者名 : WOC SQUAD JAPAN

### 《問合・定額小為替送付先》

〒491 愛知県一宮市時之島字大東81  
落合 公也 (オチイ キミヤ)  
phone 0586-78-6382

## JWOC選手選考方法決定

これまでSQUAD自身明確にできていなかったJWOC（ジュニア世界選手権）の代表選手選考との関わりについて、このほど方針を決定した。今後は、SQUADが代表選手選考を行う。

担当者には、新たにSQUADメンバーに加わった利光良平氏が就任する。利光氏は、元NTメンバーでもあり、JWOCに関しては、その第1回開催の情報入手に貢献すると共に、代表メンバーとして活躍。以後も、チームオフィシャルなどを通じ世話役を努めている。

選考基準は次頁のとおり。

### お詫びと訂正

先月号で、本年行われるJWOCの開催地を「ポーランドのグディニア」と記載してしまいましたが、とんでもない誤りでした。本年度は、「イタリアのボルツァノ」で行われており、ポーランドでの開催は来年（94年）の7月前半となります。誤報につきまして、ここに訂正を致しますと共に、深くお詫びを申し上げます。



## 94年ジュニア世界選手権（JWOC）日本代表選手選考について

ジュニア世界選手権（JWOC）は、20歳以下のジュニアを対象に、毎年7月前半に開催される選手権大会であり、ショート、クラシカル、リレー（1チーム3人）の3選手権から成る。各コースの距離は日本国内のエリート程度であるが難易度とスピードはかなり高レベルであり、クラシカルの場合トップは男子60分、女子45分程度で走っている。今まで日本からJWOCに出場する選手には、年齢以外に明確な選考基準がなく、選手の実力が問題となっていたが、SQUADは94年のJWOCから日本代表として出場しようとする者に対して右記のように選考を行い、JWOCの日本選手の質の向上と安定をはかることとした。

なお、94年のJWOCへの出場意志がある者は、**94年1月末までにSQUADのJWOC担当者まで**、「住所」「氏名」「電話番号」「生年月日」「所属クラブ/学校名」を明記して文書で意志表示すること。実力基準をまだ満たしていない場合でも、意志表示は早目に出してもらいたい。

### 94年ジュニア世界選手権日本代表選手選考基準

SQUAD

#### 1) 年齢制限

ジュニア世界選手権規則第5条3項により、94年のジュニア世界選手権に選手として出場しようとする者は、次の年齢制限を満たした者でなければならない。

【1974（昭和49）年1月1日以降に生まれた者】

#### 2) 実力基準

94年のジュニア世界選手権に選手として出場する者は、以下の実力基準のいずれかを満たした者であること。

- ① 93年度エリートポイント(O-JAPAN 93/3月号7ページ下段参照)で点を得た者。但し公認大会19-20Eでの得点は数えない。(19-20Eと21Eが同じコースの場合の混合順位での得点は数えられる)
- ② 94年3月の日本学生選手権個人戦で男子25位、女子20位以内の者。
- ③ 成績が優秀で、①②相当の実力があるとして、SQUADが推薦をする者。

#### 【SQUAD JWOC担当】

〒189 東京都東村山市美住町1-4-48-5 利光良平 TEL 0423-94-9155

#### その他

実力基準を満たしたJWOC出場意志表示者が多数いた場合、SQUADが選考を行なって男女各3名以下に絞り込むことが有りうる。

大会出場に関わる経費は原則として全て本人負担となる。

チームオフィシャルとして随行できる方も上記まで申し出てください。

94年のJWOCは7月前半にポーランド北部のグディニアで開催される予定である。

## WM 91 ビデオ販売のお知らせ

WOC 91（チェコスロバキア）のビデオテープ（135分）が作成されております。

ご希望の方は、下記までお申し込みください。収入は、本年度WOC代表選手への援助金とさせていただきます、御購入を頂いた方は賛助会員とさせていただきます。

お申込金は、4000円以上です。

<問い合わせ・申込先>

〒444 岡崎市美合町字小豆坂20-1 ユートピア小豆坂211  
稲葉英雄

TEL 0564-55-5602

- 今月号は、NTメンバー紹介をお休みいたします。
- JWOC代表選手のみなさん、開催地の間違い、本当にごめんなさい。
- 来月号はエリートポイント93の中間発表を行ないます。

SQUAD広報担当 桐田幸宏



SQUAD事務局長・稲葉英雄氏  
新生SQUADの立役者でもある

## “走”の世界へ…

いま、OLer=Runner

が増えている!

7月25日(日)、今年で46回目を迎えた富士登山競走が山梨県の吉田口登山道をコースとしておこなわれた。

この大会は富士吉田市役所をスタートし、標高差3,000メートル・21キロ先の山頂めざしてただひたすら登って行くというもので、完走率50パーセントの『日本一過酷な山岳レース』としてランナーの間ではいちもく置かれている。今年は残念なことに台風の上陸と重なったため五合目で打ち切りとなり、周到な準備で臨んだ参加者はあきらめきれなかったことであろう。

山頂への夢は来年に持ち越された。

ところで、この厳しいレースに挑むランナーのなかに37人(プログラムによる)のオリエンティアの姿があったことを記しておきたい。そして、翌週の富士登山駅伝でナショナルチームが22位と大健闘したことも合わせて報告しておく。

◇◇

ここで7月号を読み返していただきたい。桐田幸宏氏が車山高原クロスカンントリーで大活躍したオリエンティアたちを紹介したコラムがある。この文面から読み取れるように、最近のトレーニングの内容、特に学生を中心とした若手オリエンティアのそれは走力重視の傾向にある。また同時に、ランニング大会に興味を持っているオリエンティアの数も、この大会に代表されるように着実に増えてきている。

ランニング大会に参加する動機はひとそれぞれであろう。ただ、走り込みにポイントを絞ったトレーニングスタイルを続けていけば、当然の結果として日ごろの成果をなんらかの形で試したいという欲求が生じてくる。それがシーズンオフのこれらの大会への積極的な参加につながっているのだろう。

◇◇

現在、何人ものオリエンティアがランニングの世界で活躍し、すでに実績をあげている方もいらっしゃる。次におもな方々を紹介しよう。

- ・今年6年目を迎える多摩OL年間走り込み大会のリーダー菅原琢氏
  - ・6月のサロマ湖100kmマラソンで女子年代別第3位に入った出田裕子さん(OLP兵庫)
  - ・パソコンネットを通じてランナーと交流を重ねている清水潔氏(ソニーOL)
  - ・車山高原クロスカンントリーで2年連続優勝を果たした富士淑子さん(千葉大OLC)
  - ・ランナーズの広島通信員として活躍中の今井将也氏(上智大OLK・OB)
- そして、石井龍男氏(千葉OLK)に至ってはクロスカンントリーのスペシャリストといっても過言ではないだろう。

◇◇

また彼らをはじめ、オリエンティアをよく見かけるランニング大会が前記のほかにもいくつかあるので列記しておく。

- 4月…秋川溪谷自然入レース
  - 5月…クロスカンントリーin東伊豆
  - 8月…大菩薩峠登山競走
  - 9月…クロスカンントリーin湯沢
  - 10月…雲取山タイムトライアル
  - 1月…フロストバイトロードレース  
千葉マリンマラソン
  - 2月…青梅マラソン
  - 3月…大山登山マラソン  
六甲全山縦走タイムトライアル
- やはり、オリエンティアは山道レースがお好きなようだ。

これらの大会については、どこのどんな大会で、なぜ人気があるのかといった詳しい情報を、次回以降ご案内かたがたOLカレンダーとリンクさせながら紹介

していきたい。このほか、本誌後援の全日本月間走り込み大会などぜひお勧めしたい“楽しい大会”もたくさんあるので請うご期待、である。

◇◇

一方、そのランニングの世界では、ただ走ることにものたりなくなった人たちがウルトラマラソンやトライアスロンといった、よりシビアなスポーツに新しい刺激を求める傾向にある。それは、これらのスポーツの急速な浸透ぶりを見ればうなずける。

そんな、新しい目標を見出だそうとしている人たちへOLを紹介したらどうかという話をよく耳にするが、清水潔氏が7月号のイベント・リポートで報告しているような具体的な行動をとっている例は少ない。また、走るだけのランニングとOLとは、環境はもとより走り方や使う筋肉などに異なる点が多く、ランナーにとってはなかなか取っ付きにくいスポーツであろう。だが、OLを普及するひとつの手段として、オリエンティアがランニング大会に参加することで、ランナーになんらかの刺激を与え得る可能性を生かせないだろうか。

◇◇

このコーナーでは今後、ランニングの世界で活躍中のオリエンティアの話題やおもしろい大会を紹介していくことで、“走”の世界にみなさんをご案内し、興味を持っていただくという趣旨で設けられた。これを機に、練習の一環としてランニング大会を利用し、楽しんでいただけたらと思う。

### ☆筆者紹介☆

長谷川 照恭 (32歳)  
H21A、OLCサン・スーシに所属し、OL歴14年、走歴は7年になる。  
「あくまでもOLの走力向上のため」と言いながら、ロードレース等への出場回数は毎年OLを上回っている。TMクラブというマラソンクラブにも所属、昨年度は年間3,000キロを走っている。



# オリエンティアのための本棚

第1回：井上ひさし「四千万歩の男」1～5 講談社

文：村越 真/カット：早川喜代美

59、60、・・・ふと気づくと歩数を数えている。地図調査の帰り道である。道の脇の草むらを見ると即座に「あ、これはC1」と頭が反応している。地図を作る作業を覚え込んでしまった身体が、無意識のうちに反応してしまうのだ。O-MAPを作成した人なら一度はある経験であろう。熟練したマッパーは自分の身体を完全に一個の道具と化しているのだ。

千葉県は佐倉の豪商であった伊能忠敬は、その第二の人生を日本最初の実測日本全図作成に捧げた人物であった。しかも、私たちと同じように、歩測を頼りに日本全図作成という事業に挑んだのである。その伊能忠敬の物語であるこの「四千万歩の男」は、地図調査で生計を立てようと考えたこともある私にとってはバイブルとも呼べる書である。

それまでも、編集図としての日本全図は存在した。だが、その多くは所詮絵図、つまり<下総国の南は上総国で、北は常陸国と下野国である>といった関係を示せば十分な地図であった。彼が口指していたのは「地図」、つまり現実の地表面の右様を忠実に写し取ったものであった。そこに彼のこだわりも自負もあったと言えるだろう。

地表面を正確に写しとるために、彼は歩測と測方儀（角度を測る機械）で道筋を測りながら全国を歩いた（ちなみにしばしば紹介される量程車は、当時の凹凸の道ではほとんど利用できず、距離の測定にはもっぱら歩測が利用された）。彼は同時に経度と緯度の測定も行っている。その網の目を利用して地形を紙の上の写すことに、彼の正確な地図づくりの秘密はあった。精度に対する彼の拘りは、現代の地図学にも継承されている。球体である地表面を厳密な規則によって平面に表現すること、それが現代の地図学の第一の目的なのである。

だが現実の地形や特徴を忠実に写し取ったのでは、使いやすい地図にはならない。たとえば、傾斜の変換線は客観的に等高線を引いた地図から受ける印象よりもはるかにきつい変化に見える。特徴物の取捨選択基準は一様ではなく、そのテラインの特徴に応じて微妙に変化する。だからこそ国際的に統一された地図記号によって、多様な各国の地形を表現することができるのである。小径の幅は0.15mmで描かれている。1:15000倍なら2.2mである。こんな太い小径は実際にはないだろう。地図とは決して正確ではありえないものなのである。逆に実際の幅75cmを忠実に1/15000すれば、その幅はただか0.05mmとなってしまう。それ

が走りながら森の中で見えるであろうか。確かに筋は通っているが、そんな地図は決して使用に耐えない。

作者である井上氏も、登場人物の一人である橋本宗吉にこう詰問させる。「絵図は人間がつくり、人間が使うものではないでしょうか。いくら正確であろうが、人間がそれを使うのに不便なら、そんなものはない方がいい。だから絵図には往来が描き込んであるのではないのか」と。忠敬は、そこで改めて地図の意義に思いを巡らせるのである。

私たちの使うO-MAPでは、幾何学的な厳密さよりも、むしろ見た感じとの対応の良さが重視される。実際の移動に利用し、またオリエンティアという人間の感覚を通して地図が作成されるからである。O-MAPの地図記号も、こうした点を考慮しつつ、進化しているのである。O-MAPは使う人間第一に作成された地図であることを、私たちは誇ってもいいのかもしれない。

近年、伊能忠敬の生涯が脚光を再び浴びているという。定年後の第二の人生を日本全国の測量という大事業に賭け、合理的な思考で学問に挑戦したことがその理由だという（2月19日付朝日新聞）。しかも幕府の命とは言え、莫大な私財を注ぎ込んでいる。

ミーハーな私はすっかりこの小説に感化されてしまい、「インカレの地図調査やってくれよ」という山川社長に、「インカレといえば御公儀（おかみ）も同然だ。御公儀といつつ、実際には私財を投じて地図を作っているところもそっくりじゃないか。俺たちも『御公儀測量方』の印半天を作ろうぜ」と持ちかけているところである。



# ポストコース

りぽ〜と



□1993年5月29日(土)  
福島県 No.8 ~大高93-6~  
「**針生方旅行村**」  
[距離] 9km  
[ポスト数] 9本

会津鉄道「会津田島」駅下車。会津バスで「青少年旅行村前」下車だが本数は少ない。私は車で行った。「針生青少年旅行村中央管理棟」前がスタート地点で掲示板があるが、中のマスターは判読不能。管理棟は不在のためマップの確認はできなかったが、田島町教育委員会の話では今は置いてないとのこと。今回は昨年秋に県協会の氏家盛信さんから送っていただいたものを持参した。古い1:25,000のもので現状と合わないところがある。コースはかなり前から整備されてなく、ほったらかしの状態。旅行村の周囲を巡るコースで、⑥以外は概ね平坦。ポストは①が不明。今にも壊れそうな橋を渡ってすぐのところにある筈なのが見当たらなかった。②は記されていた位置より500m程北の分岐にあった。③は3面真っ白。④~⑤の最短経路は消滅している。⑥への山道は幾通りか考えられるが、私の辿った「琴平神社」から続く道は所々不明瞭になる。ポストは鞍部を下りかけたところにある。ポストは真っ白。⑦へも鞍部をそのまま下ってしまう行き方と、一旦922mまで登る行き方がある。私は後者を選んだが、途中で不明瞭になって道を見失い、林のなかを下る羽目になった。最後の最後でその道とまた合流した。⑧から東に続く尾根道は今は無い。ただ尾根筋は歩いて行ける。⑨は墓地在横にある分岐近くにある。全コース踏破を目指す方なら今のうち回ってしまった方がよい。それ以外であれば余り勧められない。

(福島県OL協会 ☎0243-22-5593)

□1993年5月30日(日)  
福島県 No.20 ~大高93-7~  
「**蓋沼森林公園**」  
[距離] 10km  
[ポスト数] 10本

O-MAP

只見線「会津高田」駅下車。バスは無いのでタクシーで約5kmの「蓋沼森林公園体験学習舎」前がスタート地点。マップは体験学習舎に無料で置いてあり、外のマスターも明瞭。昨年新設されたばかりのコースで、10kmコースのほか、森林公園を一巡する9ポストの6kmコースもある。10kmコースの③以降はかなり単調になるので、6kmコースだけでも十分利用価値はある。特に家族連れには短いコースの方がよいだろう。ポストは6本が共通。見どころは④の「蓋沼の浮島」と、⑧の「法用寺」。また⑥からは会津盆地が一望できる。⑩からの小径は途中で椎茸床があり、余りはつきりしない。後半の単調さを除けば変化に富んだ良いコース。4月20日~11月30日まで利用可能。

(体験学習舎 ☎0242-54-4793)

□1993年6月12日(土)  
福島県 No.16 ~大高93-8~  
「**土湯温泉**」  
[距離] 10km  
[ポスト数] 10本

O-MAP

東北本線「福島」駅東口より福島交通バス「土湯温泉」行きで終点下車。バス停前の「土湯温泉観光協会」がスタート地点で、そこにマップがある。外のマスターは褪色していたが、ボールペンの凹みから判読した。温泉街を出発し、「女沼」「思いの滝」「男沼」。そして水芭蕉の群生が見られる「仁田沼」といった磐梯朝日国立公園内の自然名勝を巡るコ

ースで、高原気分も十分味わうことができる。設置されてから10年経つが、ポスト、順路とも良い状態で保たれている。問題点を挙げるとするならば、②への小径の入口が判り辛いことと、⑤付近に地図にない道があり、惑わされ易いことくらいである。福島県下のベストコース。  
(土湯温泉観光協会 ☎0245-95-2217)

□1993年6月13日(日)  
福島県 No.17 ~大高93-10~  
「**福島市小鳥の森**」  
[距離] 10km  
[ポスト数] 10本

O-MAP

東北本線「福島」駅東口より福島交通バス「渡利循環」「渡利大回り」「山の入」行きで「扇田町」下車。北に徒歩3分の「渡利公民館」がスタート地点で、そこにマップがある。外のマスターも明瞭。阿武隈川の西側にある丘陵地帯に設置されたコース。山裾を歩くことが多いので難しくはないが、山中の③から下る道は草茂り、⑩の直前は倒木で歩き辛い。⑦から⑧への阿武隈川沿いには地図に無い主要道路ができています。問題は⑨で、ポストのある筈の所が防ダム工事のため一変しており、ポストは見当たらなかった。撤去しているのならその旨をマスターに記してもらいたい。他のポストの状態が良かっただけに残念であった。

(渡利公民館 ☎0245-23-1551  
〒福島市教育委員会体育課 ☎0245-35-1111)

リポーター:

〒344 埼玉県春日部市武里団地5-23-503  
大高 竜亮





Ekvidstans 5 m  
Skala 1:15 000

**Svenska  
Orienteringsförbundet**  
N 271 HALLAND jan. -93

Grundmaterial: Sven Bohlin  
Fältarbete: Stig Gustavsson  
Digitalisering: Ingvar Svanberg  
Program: PC-Mapper  
Tryck: Göta Älvdalens Fototryck  
Kartkontroll: Robert Bengtsson  
Godkänd: LMV 1991-11-07  
Upphovsrätt: Hylte OK  
Kartförsäljning: Klas Fritzell 0345-11852

Kimared

Tovared

Landstinget  
Halland



Stukverdsplats  
Medical service  
Behandlung  
Sairaanhoitopaikka  
Vätska  
Refreshment  
Erfrischung  
Vikistys



# Storkök

**DUBBELDUSCH**  
DU HAR GETT ALLT

# Chiquita

WINNERS MAKE THEM EASIER

**Telefonkort** ▶  
Ett nytt sätt att mötas.

# Cirkel

## 連絡協だより

## □東海地区連絡協 報告

6月26日に定例の会合が持たれ、全国の大会情報、東海地区の大会などの日程確認を行なった。本日のメインの議題である、8月28・29日に予定している合同夏合宿について、土屋さんの案を基に検討した。場所については駒ヶ根高原と千人塚を予定していたが、東海学連ではインカレ・セレクションの候補地のためクローズになっているとのことで、対応を東海学連と調整することになった。場合によっては近くの別の場所に変更になるかもしれない。

O-JAPAN3月号のイベント・レポート「愛知県指導者研修会」の中で私が軽く紹介させていただき、その後5月号で中京O.Cの小沢さんが「ハイテクOは可能か」というタイトルで詳しく説明をされていた。自動計測記録システムの試験を合宿の場を借りてやりたいとの申し入れが、中京O.Cの小沢さんよりあり、了承された。現在、つるまいO.L.Cの新帯さんが忙しい仕事の合間を縫ってソフト開発を行っており、ほぼ、目処がたったので、その試験を行ないたいとのことです。

◇

東海地区合同夏合宿は自動計測装置のOLでの本格的な試験も行なわれますので、その方面に興味のある方も是非ご参加ください。

## 東海地区合同夏合宿

8月28・29日(土・日)

場所：駒ヶ根高原/千人塚

集合：駒ヶ根高原家族旅行村へ

28日 13:30までに

宿泊：民宿「紅葉園」

参加費：15才以下 7500円

16-22才 8500円

23才以上 9500円

参加希望者は予約金 2000円を添えて

▲下記へ申し込んでください。

締切：7月31日

〒456 名古屋市緑区大高町砂畑9-8

土屋 晴彦 ☎052-621-3609

◇

O-JAPAN5月号で紹介できなかった、愛知、三重を代表する副会長について紹介します。

[愛知] 池田 俊彦 (つるまいO.L.C)

[三重] 早川 正美 (県庁O.L.C)

文責：小野 盛光 (三河O.L.C)

□中四九連絡会  
のご案内

今春(3/21)、第19回全日本大会における連絡会で予定した通り、来たる第8回吉備路大会の折に、“定例連絡会”を次の通り開催します。

関係各位のご参加をお願い致します。

記

1. 日時：9/12(日) 13:00-13:40
2. 場所：速報付近に掲示
3. 参加者：“中国・四国・九州”圏内の  
ホリエータグ組織(クラブおよび  
県協会・県委員会)の各代表者、および有志個人。
4. 会費：無料
5. 協議題：10月以降〜向こう1年間の  
“圏内ホリエータグ”の公開行事  
予定”&提案。

※当日の出席者に『資料』として、まとめて配布したいと思いますので、行事予定・ご提案は、あらかじめ、9/5までに、FAXで財間幹事宛て送信をお願い致します。

TEL &amp; FAX: 08548-2-1405

連絡幹事：財間 定義  
(島根O.C)

◇

## 編集部より

◆ここ数十年、あまり例を見ない異常気象、涼しい夏が続いています。そういえば先月遠征してきましたデンマークやスウェーデン南部も、以前に訪れたときより涼しく、天候も不順でした。新聞等では記録的な冷夏とも報じられているようです。◆この天の異変は景気の回復にも影響して、一向に経済界にも陽が差しませんが、それでも夏は私の勤務する業界にとって書き入れ時。7月に2週間も休

暇を取ったことも大いに重なって仕事も山積みです。当然のことながらO.Jの仕事は二の次となっています。新潟の石田さんから、カレンダー掲載のため朝日大会の要項原稿をFAXしていただいたところ、後援団体の中に「JAPAN」の名が在ったため、急遽小誌への要項綴込みをお受けしてしまいました。しかし、5ページにも書きましたが、申込み締切が8月24日です。ご参加の向きには、再度ご注意

くださるようお願いいたします。◆綴込みについて。第三種郵便物の場合には本誌のページ数を綴込み(キチンと綴じ込まなければならない。カレンダーのように綴じないで、同封する場合は「付録」の文字を入れなければならない)ページ数がオーバーすることは許されません。ぜひ、ご承知おきください。◆とにかく何とかがんばりましたので、みなさまのお手元には24日以前に届くでしょう。

O-JAPAN 発行人/田口 昭子 : 購読料 年間4月~3月 ¥3,000  
〒233 横浜市港南区日野南7-9-5 : (高校生以下) ¥1,800  
TEL. 045-891-7004 FAX. 045-891-2500 : '93.8月~'94.3月 ¥2,000  
(Annex) 0287-77-1977 : 1部あたり頒布価格 ¥250  
郵便振替口座/横浜7-46870 (加入者名) O-JAPAN 編集部

: 編集責任者/田口 肇  
: Chief Editor: Hajime Taguchi  
: Editorial Address:  
: 7-9-5, Hino-minami, Kohnan-ku  
: Yokohama, 233 Japan